宗教について

アメリカの寮生高校に所属していた時、友人の一人が悪ふざけで、ヒンデゥー教のインド人のベッドの上に昼ご飯で出たハンバーガーの肉を置いて、それを見たインド人の子が発狂するのを部屋の外で友人と共に笑い転げていたのは良い思い出。そんでもって、翌日、私も含めて校長に呼び出された、叱られたのも良い思い出。

やはり、アメリカに居ると宗教について聞いたり、目にしたりする事が日本と比べたら頻繁にあって、そもそも宗教って何なのか？と言う事を宗教に対して恐怖を抱いている私含めたジャパニーズのあなたに、私なりに少し掘り下げて行きたいと思います。

宗教とはざっくり言って、人や自然を超えた何かを信じて、その何かの教えに従って生きる事と言う意味です。

例えば、キリスト教はイエス・キリストが記した主に聖書に従って生きる。ヒンドゥー教は良く分からなかったので割愛させて頂きますが、宗教とはそういう事です。

そんで今回の動画で一番伝えたい事、例えばあなたにも尊敬する人、ロールモデルとする人、メンターとする人、憧れる人が居たりしませんか？

私であれば、イチロー選手であったり、ゲイリー・ベイナーチャック氏など。

私やあなたに尊敬する人が居て、時として、「イチローだったらどうするかな？」と考えたり、「今の俺を、ゲイリーが見たら、ボロクソに言われるな。日々の行動を変えないと」と言うように尊敬する人に合わせて、己を改めたりする事ってあったりしませんか？

その考え方、宗教を崇拝して生きると言う仕組みとさほど変わらないと思うのです。もちろん、信念の強さや、現実に居る人ｖｓ神と言うように信じる何かは違ってたりしますが、これ以外はさほど変わらないなと思うのです。

と言うのが、宗教の実態では無いでしょうか？

ただ、怖いのが心理学のイデオロギーバイアスと言われる偏見。何かに対してあまりに強い信仰を持ちすぎて、頭が植物状態にあって、融通が効かなくなる事。頻繁に変わる世界、変わる真実事実なのにも関わらず、信仰は絶対に曲げない、信仰に反する事実真実意見を目の当りにしたら、ふさぎ込むか徹底的に潰す。

これが怖いんです。

運良く、私の周りでは、宗教を信仰していても、柔軟に考え方を変えたり、他の人の意見を熱心に聞く人しか居ませんでした。ですから、宗教を信仰しているからと言って、ヤバい奴とすぐに決めつけるのでは無くて、その人を少しは知る努力をして、植物状態になっていたら、離れるのが利口な選択でしょう。